

# 母校の行事 あれこれ

## キャリア 教育講演会

平成20年3月21日金に、1・2年生を対象にして開催された。この講演会は、総合的な学習の時間における進路学習の一環として行なわれている。本校の卒業生を中心に講師を招聘し、今回、講師9名中7名がOBの方で多大なご尽力をいただいた。

### OB講師の紹介と内容（卒年順）

板崎 一也	昭和19年4修	元クラブ勤務	「立派な愉快な人生を送ってほしい」
大高 順雄	昭和23年4修	財団法人「新村出記念財団」評議員 文博・フランス国博士	「言語という人間遺産を学ぶ楽しさについて」
西井 正弘	昭和40年卒	京都大学総合人間学部 / 大学院人間・環境学 研究科教授	「大学で学ぶことの意義 - 専門と教養と」
大塚 愛二	昭和49年卒	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授	「医師としての資質と今やっておくべきこと」
藤井 洋一	昭和58年卒	神戸新聞経済部次長	「“記者”という仕事の面白さ、しんどさ」
久保田哲郎	平成10年卒	三菱重工業（ジェットエンジン設計）	「“技術者”は実際に何をしているのか」
佐野 正明	平成14年卒	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)	「就職活動や入社1、2年目の様子について」



板崎 一也氏



大高 順雄氏

### OB外の講師の方

佐川 英治	岡山大学社会文化研究科准教授	「中国最初の征服王朝、北魏の遺跡調査の旅」
實川 香織	(株)シギヤ精機製作所 技術部開発課	「働くこと、大学生活についてのリアルな話」



西井 正弘氏



大塚 愛二氏



藤井 洋一氏



久保田哲郎氏



佐野 正明氏

「生徒の感想より」  
「先輩のように後輩に人生を語れる生き方をしたい。」記者は文系だと思っていたが理系の人々が求められていると聞き意外だった。「就職活動について具体的な話を聞き、頑張らないといけないと思った。」  
「このようなOBの講演会を聞けて、朝日に来てよかったと思う。」

## ピアサポート 活動

昨年からは保健委員と希望者を対象としたピアサポートを実施しています。ピア（Peer = 仲間）サポート（Support = 支援）は、生徒の中に仲間支援の力を育て、活用する取り組みです。さまざまなトレーニングによって成長した生徒たちが、日常生活の中でサポート活動を行い、仲間同士の人間関係を豊かにしたり、課題を解決したりするとともに、あたたかい学校風土づくりの一端を担います。

ピアサポートはカナダやアメリカ、イギリスなどの学校で発展し、今では多くの国々に広まっています。日本には1990年代に紹介され、小・中学校を中心に全国各地の学校で実践されるようになりましたが、高校での実践はあまり多くありません。岡山県でも実践校が少しずつ増えてきていますが、まだ少数です。本校の取り組みは、今年3月にNHKでも紹介されました。

ピアサポートには、いじめや暴力などの問題行動が

起こりにくくなる、予防的なはたらきがあることも、さまざまな実践から報告がなされています。本校においても、ピアサポート・プログラムを通じて、学校の中に一層の共感的であたたかい雰囲気をつくることができると願っています。

